

事業領域説明会（資源・エネルギー・環境事業領域） 主な質疑応答

1. 燃料アンモニアの発電設備への適用についての現状と展望を教えてください。

- ・ 2025 年度までの計画への織り込みは、バリューチェーンの下流側設備や、貯留タンク等の売上に限定されている。
- ・ 今年度末にも商用発電設備におけるアンモニア燃焼の実証試験が開始される。これが成功すれば、適用検討が広がると予想される。
- ・ 先ずは国内から普及させていき、2～3 年後には東南アジアへの展開を考えている。
- ・ 天然ガスを燃料とするガスタービンも、将来的にはアンモニア等のゼロエミッション燃料に置き換わるとみられており、IHI グループが東南アジアで建設等に携わるガスタービンを含め、アンモニア燃料への転換を提案していきたいと考えている。

2. 原子力事業の動向について。

- ・ IHI が国内軽水炉プラントの新設工事を終えてから、およそ 20 年が経過しており、原子炉関連機器に関する技能を次世代に引継いでいくことが、大きな課題の一つである。
- ・ そのためには、会社の枠を超えて、業界全体で技能がしっかり継承できる形を作っていくことも考えていかなければならない。

3. 小型原子炉（SMR）の取り組みについて。

- ・ アメリカで SMR の初号機が 2029 年稼働で計画されている。米国当局の設計認証は取得済みで、基本計画は完了している。
- ・ IHI は、その基本計画をベースに詳細設計を展開する。格納容器のモックアップを当社横浜工場で製作するとともに、詳細図面を固めていく。

以上